

# 行政視察報告書

令和元年8月28日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 斉藤一信 (印) 議員 (印)  
議員 大本邦光 (印) 議員 (印)  
議員 (印) 議員 (印)

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

【1】 福岡県 福岡市

住 所	福岡市中央区天神1-8-1
電 話	092-711-4835
視察案件	イノシシ対策について
期 日	令和元年8月22日(木) 13時30分から 15時00分まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	福岡市議会棟
概 要	<p>イノシシ課長から福岡市のイノシシ被害対策についてレクチャーを受けました。福岡市では昨年10月市街地にイノシシが現れ通勤中の会社員を襲った事故があり、市が集中捕獲を専従する担当課長を任命しました。福岡市では年間1500頭にも上るイノシシを捕獲しており、その数は笠岡市の10倍。猟友会、農家と連携をとり福岡市能古島(北木島の面積は約半分、人口はほぼ同じ)では年間200頭も捕獲、駆除に成功しています。昨年度までその有害鳥獣対策予算は年間150万円程度。特に北木島との差は箱ワナの数。現在、北木島には13個の箱ワナを設置していますが、能古島では80個を設置。特筆すべきはその内市が設置しているのはたったの5つ。島民が自主的に50個を。他、国補助をもらい25個を設置しています。その上、今年度からイノシシ対策専従課が出来、予算も3700万円弱つけ、捕獲駆除対策を猟友会に委託し徹底的に駆除に乗り出しました。目標は今年2000頭の捕獲との事。笠岡市でも取り組める内容も多く早急に笠岡市担当課へ対策要望していきたいと思ひます。</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

【2】 佐賀県 佐賀市役所

住 所	佐賀市栄町1-1
電 話	0952-40-7027
視察案件	AIロボット導入について
期 日	令和元年8月23日(金) 10時00分 から 11時30分 まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	佐賀市役所
概 要	<p>導入予算3000万円を使い、市民サービス向上と職員作業軽減を目的に地元業者と共同でAIロボットを導入。市民の問い合わせの対応をホームページ上でやっている。</p> <p>現状、職員のAI対応の事務作業管理運営など、業務改善が行われているか検証は簡単ではなく試験的に運用を行っている。</p> <p>将来、笠岡市にも導入が検討される時期がくると思うが、現状では課題が多いか。</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

【3】 長崎県諫早市

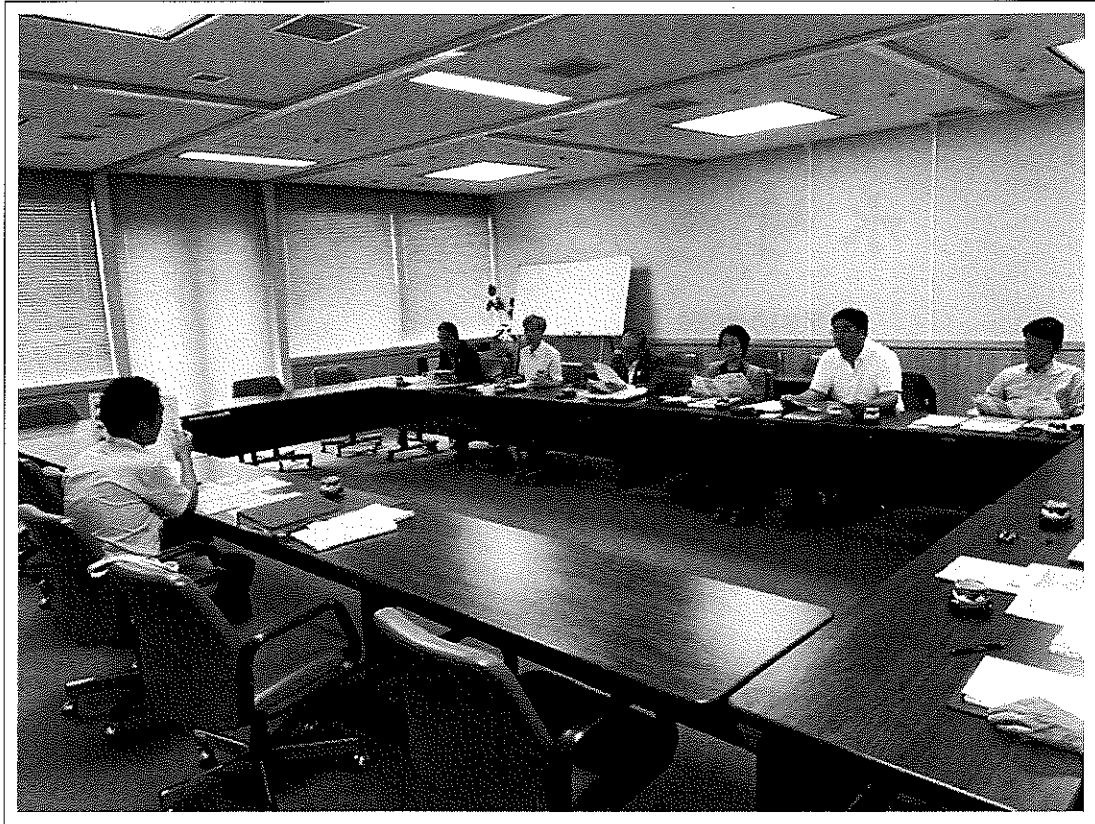
住 所	長崎県諫早市東小路町7-1
電 話	0957-22-1500
視察案件	諫早市スポーツコンベンションについて
期 日	令和元年8月23日(金) 15時00分 から 16時30分 まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	諫早市第一野球場
概 要	<p>諫早市でスポーツ施設を利用した合宿誘致について学びさせて頂きました。諫早市は任意団体であった観光協会を解体し社団法人化した諫早観光物産コンベンション協会が様々な仕掛けを実施。大学生を中心に団体スポーツ選手の誘致に大きな成果を上げています。また、市内宿泊施設利用を条件にした宿泊補助金の創設など、旅行会社、コンベンション協会、市役所が一体となり利用者目線に立った取り組みを進めています。まさに笠岡市には無い官民一体の観光コンベンション事業です。まだまだ、本気度を増して市民の為にあらゆる施策に取り組む必要性を痛感しました。</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

【4】 佐賀県佐賀市 NPO法人ユマニテさが

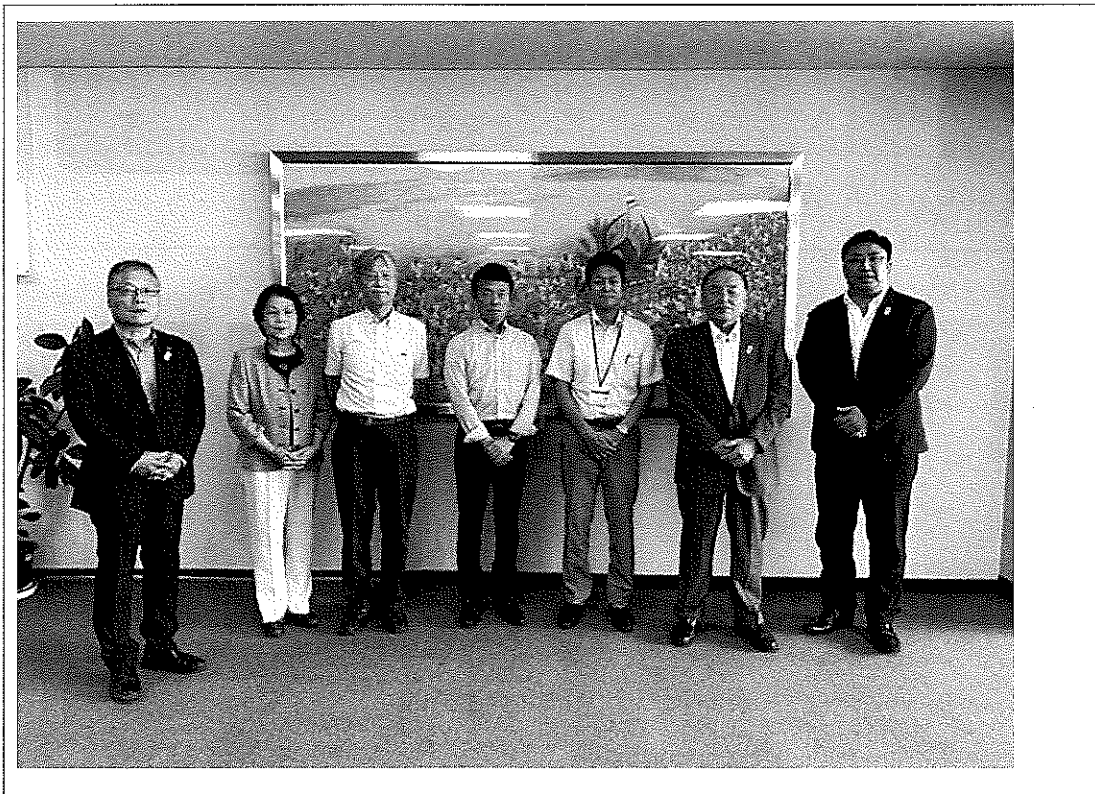
住 所	佐賀市白山2-7-1エスプラッツ2階
電 話	0952-22-7340
視察案件	コンテナを利用した空き地空き店舗利用
期 日	令和元年8月24日(土) 10時00分から 11時30分まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙名刺のとおり
訪問施設	佐賀市内 コンテナ施設
概 要	<p>佐賀市NPO法人ユマニテさがを視察。数年前、佐賀市長がこの人に！と白羽の矢を立てた地元出身の設計士西村浩さんを軸に、縮退する市中心街の活性化を目指しました。空き地空き店舗利用の社会実験を重ね『わいわい！！コンテナ』プロジェクト（市が民間空き地をNPO法人を通して借り上げ、中古コンテナを設置し、市民へコミュニティの場として提供）など、今や全国が注目する中心街を築きつつあります。私が印象的だったのは『若者を中心とした、わいわい会話のある街づくり』と『ハード事業でなく、既存資源を最大限に活用する』という事。また、『イベントや祭りでは市の町おこしにはつながらない！』『イベントを極力しない！』『ワークショップ、市民間の会話を行う交流の場づくり重視！』という姿勢には強く共感しました。笠岡市が行う市中心街活性化事業は果たして継続的定着的な効果を生んでいるのか？もっと街に動きが必要ですし、笠岡市民が目に見えて人の流れを感じられる街づくりを目指す必要があります。</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

# 視察状況写真

【1】福岡県 福岡市議会関係



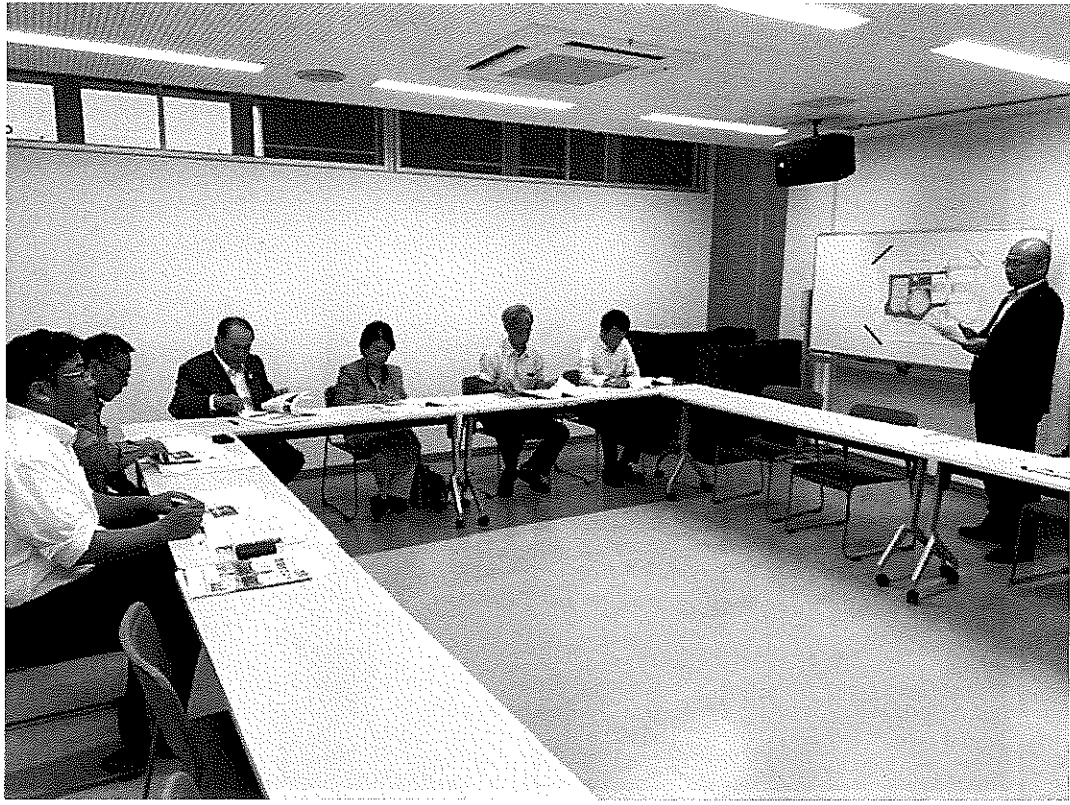
【1】福岡県 福岡市議会関係 イノシシ課長と



【2】佐賀県佐賀市議会関係



【3】長崎県諫早市関係 1



【3】長崎県諫早市関係 2



【4】佐賀県NPO法人ユマニテさが1





【4】佐賀県NPO法人ユマニテさが2



【4】佐賀県NPO法人ユマニテさが3

